

北海道 ITS 推進フォーラム 会報



NO. 21

CONTENTS

- P1 【活動報告】平成 24 年度定期総会開催報告
- P2 【活動報告】平成 24 年度定期総会開催報告／講演会開催報告
- P3 【活動報告】講演会・研究会開催報告
- P4 【活動報告】研究会開催報告／事務局からのお知らせ

活動報告：平成 24 年度定期総会開催報告

去る平成 24 年 6 月 14 日（木）札幌市教育文化会館（講堂）におきまして、北海道 ITS 推進フォーラム平成 24 年度定期総会が開催されました。当日は 26 会員（委任 15 含む）の参加により総会は開始されました。

議事の進行に先立ち、山本会長からご挨拶をいただき、続いて規約に則り会長を議長に選出し、議事が進められました。

第 1 号議案「平成 23 年度事業報告」について、事務局からの報告後、会員多数承認の元、議案は可決されました。第 2 号議案「平成 23 年度会計報告」について事務局から収入・支出状況を説明し、監事の石本氏から監査報告がされた後、会員多数承認の元、議案は可決されました。第 3 号議案「平成 24 年度役員および幹事（案）」について、改定年ではないため事務局より異動に伴う変更について説明を行い、会員多数承認の元、議案は可決されました。第 4 号議案「平成 23 年度事業計画（案）」及び第 5 号議案「平成 23 年度事業予算（案）」について、事務局より提案内容の説明後、会員多数承認の元、議案は可決されました。

以上で予定されていた議案の審議は全て終え、総会は終了いたしました。総会の運営にあたり会員の皆様に多大なるご協力をいただきましたことについて、事務局よりあらためてお礼申し上げます。

■定期総会

日時：平成 24 年 6 月 14 日（木）14 時 00 分～
場所：札幌市教育文化会館 講堂

■平成 24 年度会員（平成 24 年 6 月現在）

一般会員：29 会員
個人会員：8 会員
特別会員：19 会員

■平成 24 年度役員構成（平成 24 年 6 月現在）

会長：山本 強（北海道大学大学院情報科学研究科教授）
副会長：鈴木 勝美（一財）北海道道路管理技術センター常務理事
太田 祐司（株式会社ドーコン交通事業本部副本部長）
田中 正稔（株式会社シー・イー・サービス副社長）
監事：浅野 基樹（独）土木研究所寒地土木研究所 寒地道路研究グループ長
原 文宏（一社）北海道開発技術センター理事
石本 敬志（一財）日本気象協会北海道支社参与
評議員：和泉 晶裕（北海道開発局建設部道路計画課長）
佐野 修（北海道建設部土木局道路課長）
天野 周治（札幌市建設局土木部道路課計画担当課長）

■平成 24 年度幹事構成（平成 24 年 7 月現在）

代表幹事：高山 博幸（北海道開発局建設部道路計画課）
幹事：細川 智之（北海道建設部土木局道路課）
梅澤 卓司（札幌市建設局管理部雪対策室）
小林 英一（札幌市建設局土木部道路課）
渡辺 章（一財）北海道道路管理技術センター

松澤 勝（独）土木研究所寒地土木研究所）
松田 泰明（独）土木研究所寒地土木研究所）
内藤 利幸（株式会社ドーコン）
正岡 久明（株式会社シー・イー・サービス）
岡村 智明（一財）日本気象協会北海道支社）
大川戸貴浩（一社）北海道開発技術センター）
長谷川一義（株式会社長大）
金村 直俊（札幌総合情報センター株式会社）
板橋 秀行（パンフィックコンサルタンツ株式会社）

■平成 23 年度事業報告

1. 啓発・普及事業

1) 講演会開催（2 回）

ア) 北海道 ITS 推進フォーラム講演会（第 1 回）

- ・開催日：平成 23 年 6 月 15 日（水）15 時～17 時
- ・場 所：北海道立道民活動センターかでの 2・7 520 研修室

・参加者：56 名

・内 容：演題 2 題

地域のモビリティデザインと ITS

日産自動車における電気自動車の取り組みについて

イ) 北海道 ITS 推進フォーラム講演会（第 2 回）

- ・開催日：平成 23 年 11 月 9 日（水）
13 時 30 分～16 時 50 分
- ・場 所：札幌市教育文化会館 講堂

・参加者：63 名

・内 容：演題 3 題

現場急行支援システム（FAST）

「CAIS」コンセプトに基づいた路面状態判定技術

社会・産業の発展に寄与するモバイル空間統計

2) ホームページの運用

ホームページによりフォーラムの概要や活動について情報発信を行うと共に、会員へのメーリングリストを活用し、電子メールにより関係機関からのニュース配信等を実施した。

・ホームページによる情報提供

	ホームページでのニュース掲載	作成元	件数
1	トピックス・関連情報	幹事、事務局	5
計			5

・電子メールによる案内

	電子メール内容	発信元	件数
1	推進フォーラム事業案内	事務局	15
2	関係機関からのニュース	事務局	69
3	会員からの投稿等	会員	5
計			89

2. 会員サービス事業

- 1) 定期総会開催
開催日：平成 23 年 6 月 15 日（水）
場 所：北海道立道民活動センター かでる 2・7
520 研修室
内 容：平成 22 年度事業・会計報告、規約の改定、平成 23 年度事業計画・予算について
- 2) 会報発行
号 数：第 20 号
発行日：平成 24 年 5 月
内 容：平成 23 年度定期総会報告、講演会・研究会活動報告、事務局からのお知らせ

3. 調査・研究事業

- 1) 産学官民連携による地域 ITS 推進研究会の開催
平成 23 年度 第 1 回
・開催日：平成 23 年 8 月 30 日（火）
・場 所：北海道立道民活動センター かでる 2・7
1040 会議室
・参加者：45 名
・内 容：演題 2 題
高齢者の安全運転を支援する車載情報提供システムの開発
岩見沢市における IC タグを活用した児童見守りシステム等の取り組みについて
平成 23 年度 第 2 回
・開催日：平成 24 年 1 月 13 日（金）
・場 所：TKP ガーデンシティ札幌
きょうさいサロンカンファレンスルーム N-4
・参加者：54 名
・内 容：演題 3 題
吹雪の視界情報～吹雪の投稿情報の公開実験について
つるつる路面情報提供の今年度の取り組み
自動車利用者の行動特性分析における新たな手法について

4. 協力・推進事業

- 1) 北海道土木研究会道路研究委員会講演会の共催
開催日：平成 24 年 1 月 13 日（金）
場 所：TKP ガーデンシティ札幌きょうさいサロン「高砂」

■平成 23 年度会計報告

1. 収入（単位：円）

科 目	決算額	備 考
1. 前年度繰越	461,461	
2. 会費	376,000	
3. 雑収入	6,074	研究会参加費、預金利息
合 計	843,535	

2. 支出（単位：円）

科 目	決算額	備 考
1. 事業費	341,000	
(1)啓発普及	250,270	講演会開催等
(2)会員サービス	28,240	総会開催
(3)調査研究	62,310	研究会開催等
(4)協力推進	0	旅費
2. 管理費	5,142	通信印刷費等
3. 諸雑費	1,260	振込手数料
合 計	347,402	
残 高	496,133	

■平成 24 年度事業計画

1. 啓発・普及事業
 - 1) 講演会の開催（第 1 回）
日 時：平成 24 年 6 月 14 日（総会終了後）
 - 2) ホームページの運用
2. 会員サービス事業
 - 1) 総会開催（1 回）
 - 2) 会報の作成及び発行（1 回）
3. 調査研究事業
 - 1) 地域 ITS 推進研究会の開催
開催回数：3 回程度／年
開催場所：札幌市内（予定）
テ ー マ：冬道、防災、観光に関連する技術や施策など
開催結果：会報およびホームページ上で報告
4. 協力・推進事業
 - 1) 関連講演会・会議などへの後援や協賛
 - 2) 地域 ITS 推進団体連絡会への参加

■平成 24 年度事業予算

1. 収入（単位：円）

科 目	予算額	備 考
1. 前年度繰越	496,133	
2. 会費	364,000	
3. 雑収入	100	預金利息
合 計	860,233	

2. 支出（単位：円）

科 目	予算額	備 考
1. 事業費	512,000	
(1)啓発普及	162,000	講演会開催他
(2)会員サービス	50,000	総会開催
(3)調査研究	200,000	研究会開催
(4)協力推進	100,000	地域 ITS 団体連絡会参加
2. 管理費	18,000	通信印刷費他
3. 諸雑費	2,000	振込手数料
4. 予備費	328,233	
合 計	860,233	

■北海道 ITS 推進フォーラム講演会開催報告

○平成 24 年度 第 1 回北海道 ITS 推進フォーラム講演会

平成 24 年 6 月 14 日（木）札幌市教育文化会館におきまして、平成 24 年度第 1 回の講演会を開催いたしました。講演会にはフォーラム会員を含め 59 名の方にご参加いただきました。講演会の内容は以下のとおりです。

日 時：平成 24 年 6 月 14 日（木）
場 所：札幌市教育文化会館 講堂
（札幌市中央区北 1 条西 13 丁目）

内 容：

- 1) 演題：東日本大震災と ITS
講師：東京大学 生産技術研究所
先進モビリティ研究センター
准教授 牧野 浩志 様

東日本大震災における道路交通確保とITSについて、民間自動車会社等のITSプローブデータを活用した事例などを交えて講演いただきました。

東日本大震災では多くの道路が損壊したものの、東北地方整備局の「くしの歯作戦」により、ほぼ1週間で国道の復旧を終えました。それにはヘリコプターで被害の概要を早急把握できたことが大きかったとのこと。また、支援物資や工事車両や復旧資材などの輸送において、どの道路が使えるのか把握することは極めて重要ですが、民間の自動車会社等のITSプローブデータを活用することで、どの道路を自動車が使っているか迅速に把握できたそうです。

一方、首都圏では首都高速が閉鎖のため大渋滞が発生し車での移動は不可能でした。また徒歩での帰宅者も途中のトイレなどの問題もあり、結果として、会社に残ったのが正解だったそうです。また冗長性が安全保障のために必要であり、規格の高い道路は4車線必要であること(2車線閉鎖して住民が盛土上に避難した事例がある)や、緊急輸送路の確保や道路のネットワーク化を進めること。人の命を守る耐災(=防災+減災)という考えが必要であることなどについて具体的事例を交えてわかりやすくご説明いただきました。



第1回講演会の様子



牧野 浩志 様

2) 演題：ポロクルの先にあるもの

講師：株式会社ドーコンモビリティデザイン

取締役事業部長 澤 充隆 様

札幌都心部で実施されている、サイクリングシェアサービス「ポロクル」について、ご講演をいただきました。

講演では、ポロクルを通じてまちづくりのプレーヤーとして札幌を元気にしたいという設立理念とともに、平成21年4月からの登録数や利用回数の推移、ポロクルを支える情報インフラや仕組み、運営上の課題や工夫などについて、実例やデータを交えてご紹介いただきました。

講演の中では、ポロクルが大切にしている「まちのにぎわいづくり」「環境負荷の軽減」「人にやさしい環境づくり」などのコンセプトや、ポロクルを Made in Sapporo として発信していくことなどを熱い思いを含めてご紹介いただきました。またポロクルが創出しつつあるものとして、自転車利用マナーの向上やまちづくりを担う若い世代のことを挙げられ、ポロクルが地域に着実に根付きつつあることを実感しました。



手嶋 英之 様



澤 充隆 様

○平成24年度 第2回北海道ITS推進フォーラム講演会

第2回講習会は、平成24年9月13日(木)に札幌市教育文化会館におきまして、北海道土木研究会道路研究委員会講演会の共催により開催いたしました。講演会には64名の方にご参加いただきました。講演会の内容は以下のとおりです。

日時：平成24年9月13日(木)
場所：札幌市教育文化会館 講堂
(札幌市中央区北1条西13丁目)

内容：

1) 演題：新東名の概要とITS

講師：中日本高速道路株式会社 本社 建設事業部
次世代高速チーム
チームリーダー 手嶋 英之 様

これまで以上に安全・快適・エコな走行環境を実現するために、新東名高速道路に投入されている技術について講演いただきました。

ご説明いただいた技術は、環境負荷とコスト削減に寄与する技術(橋脚基礎部の竹割型掘削法、コンクリートアーチ橋)、周辺環境と調和させる技術(地域性苗木による法面緑化、希少生物の保護対策)、ITS関連技術(交通情報の収集と提供、ITS技術を結集したSA・PA、ITSスポットサービス)、管理車両の技術(トンネル照明の清掃車両、道路落下物を走行したまま回収する車両)等、新東名で投入された最新技術を広範にご紹介いただきました。



会場の様子

■地域ITS推進研究会開催報告

○平成24年度 第1回地域ITS推進研究会

平成24年11月9日(金)札幌市教育文化会館におきまして、第1回研究会を開催いたしました。研究会には56名の方にご参加いただきました。研究会の内容は以下のとおりです。

日時：平成24年11月9日(金)
場所：札幌市教育文化会館 研修室403
(札幌市中央区北1条西13丁目)

内容：

1) 演題：山間部の冬期道路凍結の諸問題と新しい観測法

講師：北見工業大学 社会環境工学科
教授 高橋 修平 様

石北峠の路面温度や、可視光やマイクロ波による路面状況センシングの最近の研究についてご紹介いただきました。

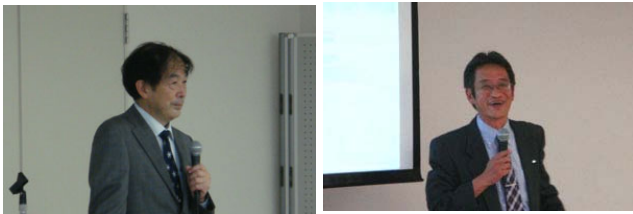
この内、マイクロ波を使った路面状態判別センサについては、南極でも雪や氷から放射されるマイクロ波を観測し、雪の温度や結晶の大きさなどを把握しているそうです。この仕組みを応用して、6GHzと18GHzの放射計を用いて路面から放射されるマイクロ波を測定し、路面状況を乾燥、湿潤、凍結、圧雪の4つに判別することができ、その的中率は90%を越えるとのことです。

2) 演題：スバルの知能化と“ぶつからないクルマ？アイサイト

講師：富士重工業(株) スバル技術研究所担当部長兼
スバル技術本部 技術開発部担当部長
樋渡 穰 様

富士重工(株)の黎明期から受け継がれる、「技術は人のためにある」という安全への思想と、アイサイトの20年の開発の歴史とそれを支えたスバルの知能化技術についてご紹介いただきました。

アイサイトは、20年前ほど前からADA(Active Driving Assist)という名で開発をスタートし、その後、紆余曲折があったものの2008年に新型ステレオカメラと新型画像処理エンジンを用いて次世代ADAとして開発した「アイサイト」をレガシィに搭載。これが、ユーザの高い評価を得て予想を上回る搭載率となったことや、「ぶつからない機能」が評価され様々な賞を受賞し、2010年～2011年の日本自動車殿堂にも選ばれたことはとても嬉しいとお話されていました。



高橋 修平 様

樋渡 穰 様

○平成24年度 第2回地域 ITS 推進研究会

第2回研究は、平成25年4月25日(木)に、ヒューリック札幌ビル TKP札幌ビジネスセンターにおきまして開催いたしました。研究会には25名の方にご参加いただきました。研究会の内容は以下のとおりです。

日時：2013年4月25日(木)

場所：TKP札幌ビジネスセンター
カンファレンスルーム5A

(札幌市中央区北3条西3丁目1-44)

内容：

- 1) 演題：SAPICAを持って“まち”に繰り出そう！
- SAPICA事業展開のご紹介 -
講師：札幌市総務局情報化推進部 IT推進課
調整担当係長 丹野 洋之 様

公共交通分野だけではなく、商業分野や行政分野においても様々な事業展開が図られてきた「SAPICA」についてご紹介いただきました。

公共交通分野の事業展開では、平成21年1月30日に市営地下鉄の乗車券としてサービスを開始し、平成

25年4月現在、約35万枚が発行されているとのこと。今後、平成25年6月22日からは、市電と市内バス3社(JR北海道バス、じょうてつバス、北海道中央バス)でもSAPICAの利用が開始されます。

この他、商業分野では、北洋銀行と提携した「c1 over SAPICA」の発行やセイコーマートでの電子マネーサービスの開始などについて、また、行政分野では、『さっぽろ地域ポイント「まちのわ」』モデル事業の実施などについてご紹介いただきました。

2) 演題：ここまで来ている交通機関のネット接続環境！

- しかし、北海道の現状は？ -

講師：札幌学院大学経営学部経営学科
特任教授 赤羽 幸雄 様

日本国内におけるWi-Fi(無線LAN)の整備状況と共に、北海道における整備事例や課題についてご紹介いただきました。

国内では、鉄道の車内や駅、バスの車内や停留所、船内や航空機内等でWi-Fiが整備されているが、まだまだ外国人観光客にとっては満足できる状況ではなく、更なる整備が必要とのこと。また、北海道内の事例として、函館市の路面電車や札幌駅前地下歩行空間での実証実験の事例を紹介していただきましたが、“食”と“観光”が売りの北海道としては、外国人観光客へのサービス向上のため、早急なWi-Fi環境整備が必要とのこと。



丹野 洋之 様

赤羽 幸雄 様

事務局からのお知らせ

- 平成25年度事業においても、講演会や研究会の開催を予定しております。開催の詳細が決まりましたら、別途ご案内いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。
- 開催した講演会や研究会などの活動報告につきましては、その都度ホームページに掲載しますので、ご覧下さい。
- 代表者名や連絡先など、ご登録内容が変更になった場合は、変更申込書(ホームページからダウンロードできます)をご利用の上、郵送またはFAXで事務局まで送付願います。
- 年会費納入のお願い
会員の皆様には、年会費の請求書を6月中にお送りしますので、納入いただきますようお願いいたします。なお振り込み手数料は各自でご負担願います。

編集・発行／北海道 ITS 推進フォーラム(Hokkaido ITS Forum)

<http://www.hokkaido-its.jp/>

●TEL 011(736)8577 ●FAX 011(736)8578

●E-mail info@hokkaido-its.jp

会員連絡窓口：新井